

一般質問

36人の議員が行った質問の中から、一部を取り上げて要旨を掲載



自由民主党
岡山市議会
安東 真理

野犬対策へふるさと納税の募集を開始

保護犬の一時収容施設は常に飽和状態が続いており、多くの動物保護団体では活動費が逼迫している。本市では、野犬対策事業費にクラウドファンディング型ふるさと納税を活用するとしているが、実施スケジュールや周知方法は。

A 令和7年7月からの募集を予定しており、ホームページ、SNS、デジタルサイネージや市広報紙への掲載に加え、募集案内チラシを譲渡会など各種イベントで配布し、周知する予定。また、ボランティアなど野犬対策事業の関係者の方々にも、市内外への情報発信をお願いする予定。



自由民主党
岡山市議会
大月 晴一

今後の古墳ブームを助長する取り組み

令和2年に開館した造山古墳ビジターセンターの入館者が、7年7月には10万人になる予定だ。今後の古墳ブームを助長できる企画はあるか。

A 造山古墳群から出土した「馬形帯鉤」のレプリカやVR動画を作成し、公開予定。また、造山古墳前後の時期の築造とされる大型古墳9基のレーザー測量を行っている。今後、大きな古代吉備の国の変遷を明らかにし、再現していきたい。



造山古墳ビジターセンター



自由民主党
岡山市議会
江田 厚志

アニメを活用した観光戦略の構築を

観光資源とアニメや漫画をタイアップさせることで観光や地域経済が盛り上がることは間違いないと考える。作品とのタイアップやアニメシリーズへの所感は。

A 日本のアニメや漫画が海外でも人気が高いことは認識している。作品の舞台の地へ訪問してもらうことは、観光客の増加や地域経済の活性化、認知度向上などさまざまな効果をもたらすと考える。本市がアニメや漫画の舞台に取り上げられた場合は、紹介マップの作成などPRに活用したい。アニメシリーズの発想も持ちながら、観光に力を入れていきたい。



自由民主党
岡山市議会
花岡 栄太郎

大規模災害に備えた備蓄倉庫管理の改善を

大規模災害発生時に備蓄物資を迅速に配布するため、各区役所や小中学校への分散配備を進めているが、備蓄倉庫の鍵の管理が不十分だと備蓄品を活用できない。スマートロックなどIT技術を活用したアクセス管理を導入し、連合町内会の自主防災会などによる鍵の管理を検討しては。

A 備蓄倉庫の鍵は、防犯対策や在庫管理などの観点から、本市職員が行っている。令和7年度に小・中学校に導入予定の鍵ボックスを活用した備蓄倉庫の鍵の管理、取り扱いについては、地域のニーズも踏まえながら今後検討していく。



自由民主党
岡山市議会
岡崎 隆

ため池管理システムの導入を進める

山間部のため池は豪雨時の現状確認に危険が伴い、時間もかかる。令和6年11月定例市議会でも24時間観測により遠隔で水かさを把握することが可能な、ため池管理システムの導入について提案したが、現在までの取組状況は。

A 6年12月に既にシステムを導入している倉敷市を視察し、有効性を確認した。現在、機種の調査と選定作業を進めるとともに、システム管理の実施対象となるため池を検討している。これらの作業を速やかに進め、まずは試験的にシステムの運用を開始していきたい。

※3 【アニメシリーズ】
アニメや漫画にゆかりのある土地や建物などを訪れ、その作品の世界観を体感する観光旅行

※2 【馬形帯鉤(うまがたたいこう)】
朝鮮半島南部で紀元前1世紀頃から4世紀後半頃にかけてみられた馬の形の金具。独自の朝鮮半島とのルートを持っていたことにつながると考えられる

※1 【クラウドファンディング型ふるさと納税】
地域への応援や貢献の思いを事業に反映させるため、寄付金の使い道の具体的な事業を示し、事業に共感した方から寄付を募る仕組み



自由民主党
岡山市議会
松本 好厚

学校施設の 不審者侵入対策

◎ 地域住民にも教育に関わってもらう開かれた学校づくりの考えが根付いてきている。一方、不審者侵入を想定した危機管理意識が低下してきていると考えるが、本市の学校施設の防犯対策は。

▲ 夜間休日の機械警備システムに加え、全校に防犯カメラの設置を進めており、来訪者に対する職員による声かけ、名札着用の依頼等を行っている。また、毎年学校の危機管理担当者を対象に連絡協議会を開催し、マニュアルの見直しや、過去の事例を基にした不審者侵入対策の協議等を行っている。引き続き、学校の防犯力向上を図っていく。



自由民主党
岡山市議会
松田 隆之

観光トイレの 環境改善を進める

◎ 吉備津神社と吉備津彦神社にある本市所有の観光トイレは、令和7年度に環境改善調査を実施するとしているが、内容と今後のスケジュールは。

▲ 二つの神社の観光トイレは、一部水洗化していないことから、公共下水道への接続や合併処理浄化槽の設置など水洗化の最適な手法を調査し、8年度以降整備を進めていきたい。



環境改善調査を実施する
吉備津神社のトイレ



自由民主党
岡山市議会
山田 正幸

自動運転システムの 早期導入を

◎ 無人タクシーは、安全な運転を実現しており、複雑な都市環境でも自律的に移動できる。令和7年4月から東京都心7区で試験走行を開始しており、本市でも無人タクシーの導入や高齢者の事故防止にもなる自動運転の導入を早急に推進してもらいたいかどうか。

▲ 自動運転システムの導入は、バスやタクシーの慢性的な運転手不足や、自動車の運転に不安を持つ高齢者に対する解決策の一つになると考えるが、日本では導入までに時間を要すると考えており、技術革新の動向や他都市の取組状況などを注視していきたい。



公明党
岡山市議団
則武 宣弘

アリーナ整備の必要性

◎ アリーナ整備の必要性は、当初のプロスポーツ観戦から、まちの活性化等を踏まえたまちづくりの起爆剤とする方向に広がっていると考える。アリーナ整備とまちづくりに関する所見は。

▲ 地元トップチームが岡山で活動を継続でき、スポーツだけでなく、コンサートなどさまざまなイベントの開催により人々の交流が活発になり、市内外に大きな経済効果を生み出すことからアリーナは必要と考える。経済効果に加え、市民に心の豊かさを味わってもらえるものになっていくと考えており、岡山の地の利もあることから、ぜひ整備を進めたい。



公明党
岡山市議団
松田 安義

歴史・文化に触れ まち歩きを楽しむ

◎ 「岡山歴史のまちしるべ」は、地域の歴史や文化資産の由来を看板で紹介することで、まち歩きを楽しんでもらう大切な事業。看板の二次元バーコードから、携帯電話で説明を聞くことなどができるか。設置完了後は一冊の本にまとめたい。

▲ 看板の二次元バーコードを携帯電話などで読み込むと説明を読むことができ、英語、中国語、韓国語も併記している。
看板設置は、令和7年度末に248カ所となる予定で、場所や内容を幅広く伝え現地を訪れてもらえるよう、ホームページの工夫や冊子の作成等を検討したい。

一般質問は、市議会ホームページでネット配信（ライブ・録画）しています。



一般質問は、市議会ホームページでネット配信（ライブ・録画）しています。



公明党
岡山市議団
福吉 智徳

林野火災の復旧・復興に向けて

令和7年3月に発生

した飽浦・小串地域の林野火災は、焼失面積486haと大規模な事態となったが、今後の復旧・復興の内容は。

A 道路施設等の損害は相当部分復旧し、県道長谷小串線の通行止めも7年7月末の解除を目指している。今後、県において土砂崩れが懸念される渓流に治山ダムを設置し、また、7年度中に落石対策や植栽等を盛り込んだ復旧計画を策定する予定と聞いている。7年6月には光南台公民館で県と合同で地元説明会を開催し、現地調査の結果や森林再生等の説明を行い、復旧への要望などを聞く予定。



日本共産党
岡山市議団
林 潤

アリーナ整備の財源確保見込みは

財源のうち50億円は

企業版ふるさと納税などの寄付金としているが、達成の見込みは。達成できなかった場合、本市が肩代わりするのか。

A 現在、企業、経済界、プロスポーツ界に企業版ふるさと納税などをお願いしており、全体として感触は非常にいいが、まだ額は積み上がっていない。今後どのような額になるのか、議会にも説明しながら、アリーナ整備の最終的な意思決定をしなければいけない。



アリーナのイメージパース



おかやま
創政会
高橋 雄大

就職氷河期世代に対し複合化課題への支援を

これまでの就業支援

が主だったが、低年金による老後の問題、ダブルケアラー^{※4}、ビジネスケアラー^{※5}、8050問題^{※6}等、課題は多岐にわたるため、状況にあった支援の選択肢をつくる必要がある。

A この窓口には、さまざまな事情を抱えた対象者の方々を相談内容に応じて、就労に関する適切な行政支援につなげる機能もある。相談の中で得られた情報は、8年度の支援事業に反映できればと考えている。



みらいえ
土田 貴行

子どもの居場所づくりを応援

子ども食堂をはじめ

子どもの居場所は、さまざまな協力者のもと運営されており、頼らざるを得ない家庭も少なくない。市はどの程度必要性を感じ、どのような応援をしているのか。

A 家庭や学校などで居場所を持ちにくい子どもに対する居場所づくりは、非常に重要。健やかに成長でき、安全、安心に暮らせる場所として必要性は高いと認識しており、子ども食堂などの立ち上げ費用の助成、相談窓口の設置等を行ってきた。令和7年6月議会にも子ども食堂へ食材費の物価高騰分を支援する補正予算を提出する予定。



おかやま未来
プロジェクト
中島 純

公立保育施設の給食全年齢で主食の提供を

本市の公立保育園お

よび認定こども園では、3〜5歳児クラスの給食は、主食（白米）を持参する運用だが、保護者の負担、食中毒のリスクが懸念され、衛生面にも課題がある。公立保育施設は、主食と副食（おかず等）の両方を提供する体制に移行すべきでは。

A 全年齢への主食と副食の提供は、配膳のスペースや業務量の増加など課題がある。今後、現場の状況を把握するとともに、政令市の状況も研究していきたい。



主食と副食の提供を要望

※6【8050問題】

80歳代の親と自立できない事情を抱える50歳代の子どもが、社会から孤立する問題

※5【ビジネスケアラー】

仕事をしながら家族等の介護をする人

※4【ダブルケアラー】

子育てと親や親族の介護が同時期に発生する状態にいる人